

ハス田群からの汚濁負荷に関する調査研究事業

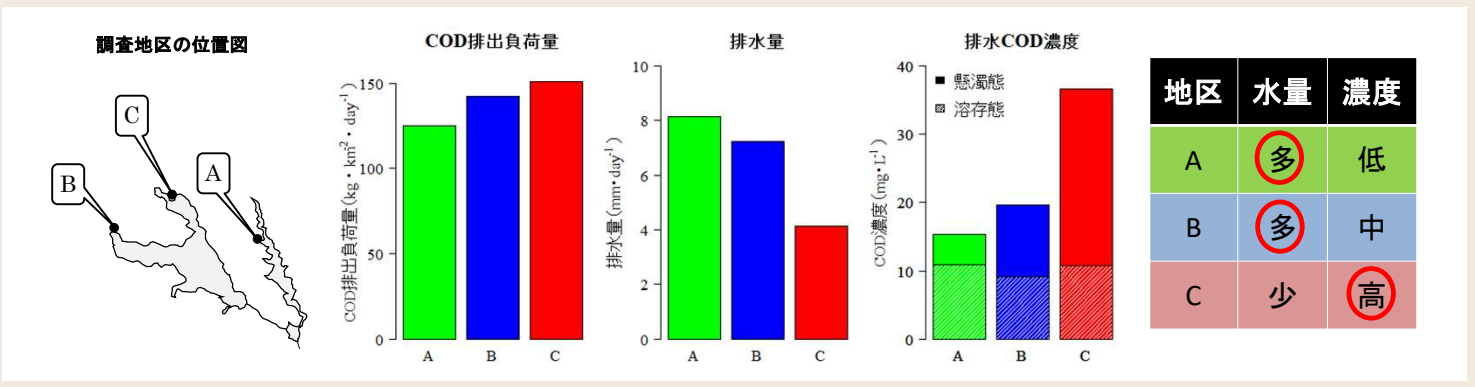
～ ハス田からの汚濁負荷削減対策 ～

茨城県は全国一のれんこん栽培面積であり、霞ヶ浦周辺が中心的な栽培地となっています。霞ヶ浦環境科学センターでは、ハス田からの汚濁負荷削減対策について調査・研究を行ってきました。

地区の特徴による排出負荷量の違い

霞ヶ浦沿岸の異なる市町村のハス田群(A～C地区)で、環境負荷の調査を行いました。

地区により排出負荷量に差があり、①A、B地区では排水の量が多いこと、②C地区では排水中の懸濁態物質の濃度が高いことがわかりました。



各地区の特徴に応じた対策とその効果の試算

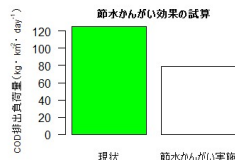
- A地区はハス田に送る水量が多く、節水かんがいを導入することで、排水量が減らせると見込まれます。
- B地区は地区内に流れ込む水路の水量が多く、水を使用しない時期・時間帯の水路の流量を減らすことで排水量が減らせると見込まれます。
- C地区は排水の濁り(泥などの懸濁物質)が多かったので、濁りを減らす対策が必要と考えられます。

各地区で対策をとることで、排出負荷量を減らせると試算されました。

【A地区】
排水量が多い

↑
機場の揚水量が多い

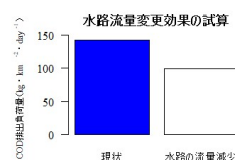
↓
節水かんがいで揚水量を減らす



【B地区】
排水量が多い

↑
水路からの流入量が多い

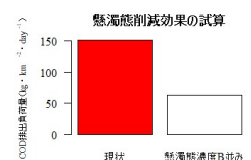
↓
時間・時期により**水路の流量を減らす**



【C地区】
懸濁態濃度が高い

↑
排水路に堆積した土砂を巻き上げて排水

↓
浚渫、土留め板の設置で排水中の土砂を減らす



環境にやさしいレンコン栽培

ハス田の負荷排出状況を詳細に把握することで、その地区の特徴に応じた効果的な負荷削減対策を立案できると考えられます。それらの対策の実施により、環境負荷を削減し、環境にやさしいレンコン栽培を実践することが期待されます。

